

2022年度決算報告

学校法人京都橘学園の2022年度決算は、2023年5月29日の理事会及び評議員会で承認されました。

経常的な収入である教育活動収入、および教育活動外収入は、前年度と比較して9億3,292万円の増加となりました。収入の大部分は、大学・中高・こども園の学生生徒等納付金で、経常収入の78.4%を占め、特に大学の新学部設置に伴う収容定員の変更等による在籍者数増加の影響が大きく、学園全体として前年度比較で107.5%となっています。入学検定料が大半を占める手数料収入では、概ね変化なく、前年度比較で96.9%となりました。寄付金収入では、当該年度が学園創立120周年記念の年であり、多くのご支援をいただいたため、前年度比較で108.9%と増額となりました。国及び京都府等から交付される補助金の事業活動収入に占める割合は15.2%で、2020年度から開始された修学支援新制度が含まれる経常費・運営費補助金は学生数の増加に伴い、前年度対比で116.7%と増額になりました。また、こども園の補助金である施設型給付費は前年比102.2%と概ね変わらない結果となりました。

支出面では、経常的な支出である教育活動支出、および教育活動外支出が前年度より3億4,087万円増加しました。人件費では前年度比較で101.1%、教育研究経費では前年度比較で103.1%の1億2,109万円増額とゆるやかに増加しており、管理経費では、諸負担金等の増加に伴い前年度比較で119.2%の1億6,278万円と増額となりました。

2021年度に設置した3学部の学生生徒等納付金が順調に計上されるなどにより、前年度差額比率が8.5%から上がり12.8%となりました。教育研究活動以外の特別収支を加算した基本金組入前当年度収支差額では15億339万円を計上しております。

基本金組入については、第1号基本金において大学前道路の複線化をはじめとする施設設備面の充実による組入れを行い、組入総額合計9億4,841万円となりました。第3号基本金では、奨学基金への寄付に伴って増額となっております。これにより、2022年度は4億6,598万円の収入超過となり、繰越支出超過額は56億9,614万円となりました。

本学園では2015年から始まった第1次マスタープラン計画を点検・評価し、2019年度から第2次マスタープランをスタートさせました。このマスタープランのもと2022年度は、大学においては増える学生に対応するため、名神高速道路側道沿い道路複線化を行い、交通経路の確保を行いました。中学・高等学校においては新教室棟を建設、教育環境の充実を図っております。たちばな大路こども園では、教育・保育の質向上に向けた保育士体制の整備・強化を行いました。

私立学園を取り巻く状況は、令和3年度版今日の私学財政(日本私学振興・共済事業団)によると、経営状況を示す事業活動収支差額比率は平均6.4%(令和3年度)となっております。本学園の事業活動収支差額比率は12.7%となっており、全国の大学法人平均より高い水準を保っております。現状においては、依然安定かつ健全な経営状態であると考えております。